

道ばたに見る春の草たち

市街地の生きもの 広瀬重夫

アブラナ科のなかま



写真 6 7 , ハルザキヤマガラシ
4 月 , 中央区



写真 6 8 , イヌカキネガラシ
5 月 , 中央区

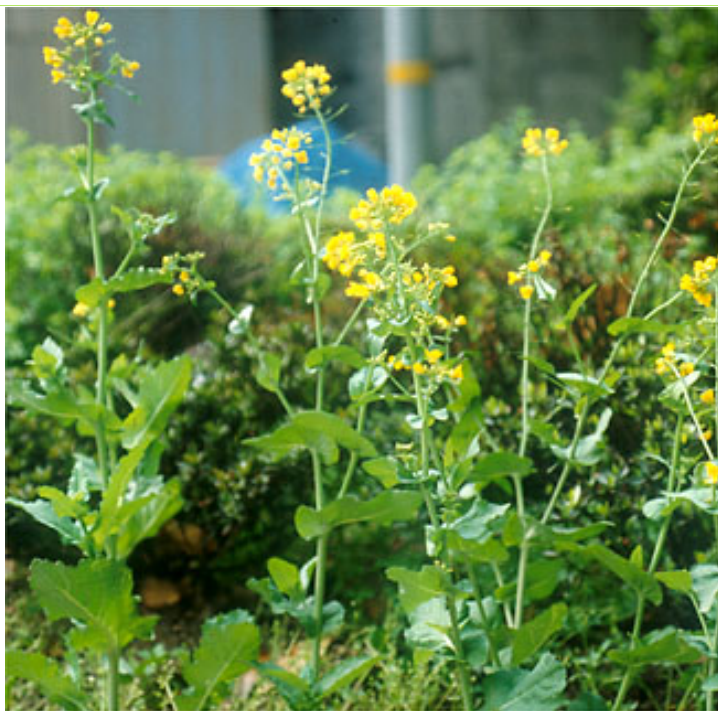
ハルザキヤマガラシ

ヨーロッパ原産。私が始めて見たのは生田川の上流域の流れの近くで、もう20年ほど前になります。帰化植物に詳しい本には、山地に多いと書かれていましたので、そのときはそれで納得していました。

しかし写真67のものは、14年前、新港第5突堤近くでした。どこで何にお目にかかれるやら。新しい本には道ばたにも見るとあります。花のようすからアブラナ科であることが分かるでしょう。

イヌカキネガラシ

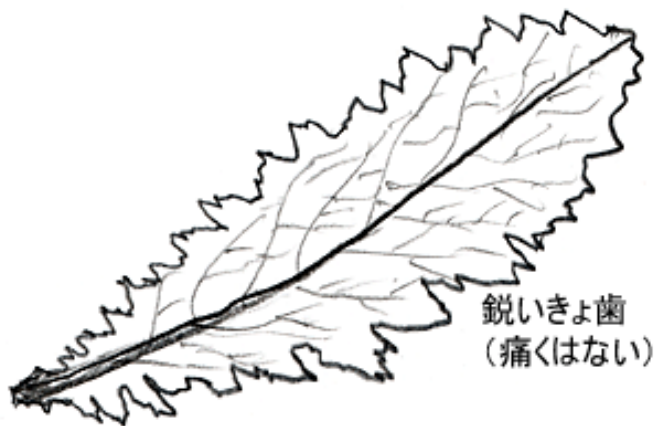
国道43号線の歩道わきで、なんとも荒々しいすがたのアブラナ科を見つけました。花がまばらに残っていますが、目立つのは細い枝のように見えるさや（長角果）でしょう。こちらは地中海地方の生まれです。



セイヨウアブラナ

日本で古くから栽培され、食用油の原料とされていたアブラナに代わって、こちらはヨーロッパ原産の帰化種で、やはり油脂原料として移入されていたのですが、今では、道路沿いに見られるなど、あちこちで野生化しています。

写真69, セイヨウアブラナ
4月, 東灘区



セイヨウカラシナの葉



花



葉



長角果

セイヨウアブラナ

郊外の河川敷などで大群落をつくるのはセイヨウカラシナで花(模式図)は、おしべのうち4本が長く、外側の2本が短い。葉のふちに注意しましょう。

花(模式図)は、おしべのうち4本が長く、外側の2本が短い。茎の上の方の葉は耳状で茎をだくように付く。下の方の葉は翼状になり長い柄がある。茎、葉ともに白い粉をまぶしたように見える。



花

イヌカキネガラシ



葉

長角果



花

ハルザキヤマガラシ



葉

注意



長角果



